



世界に誇れる「わくわく」の素が地域にはいっぱい。
そんな地域資源に気づき、形にして、地域や世界に楽しみ
を増やしていきましょう！

学部では、地域でフィールドワークを行う実習科目などを通じ、宮崎県のような地域に実際に入って学びを重ね、「企画力」や「実践力」を身に付けていきます。私自身は、地域社会経済の発展や国際展開に関連する教育・研究を行っています。フィールドで実践を積み重ねる中で、地域のポテンシャルに気づく力、皆が喜ぶ形やその実現への道筋を描く力、実際に具現化する力をつけてほしいと思います。一緒に地域発信の「わくわく」を創っていきましょう。

実務：国際協力事業企画・実施・監理、国際農村振興、気候変動等

アジアを中心とする国々に対する農村部の生計向上事業、気候変動対策のための政策議論、円借款事業の審査・監理など、多岐に渡る国際協力業務に携わってきました。異文化の人々と協働して国際プロジェクトを推進するのは難しい…でも、面白い！



(例) 国際機関・各国ドナーとの気候変動対策協議

Pick-up!
これまでの
取り組み

研究・NGO活動：研究成果を踏まえてコミュニティ農業ビジネスを推進

経済格差や環境汚染などの歪みを生じさせずに地域発展を遂げるベトナムのA村と、そうでないB村やC村。なぜ違いが生じたのか。その疑問を解く研究を行っています。また、研究成果を踏まえ、農村振興事業を企画・実施し、農村の取り組みを支援・応援しています。例えば、環境保全型農業に取り組む村の安全・美味な農作物を、地域の人々が商品化し、都市の消費者に直売する活動。農家も消費者も大喜びです。

農産品生産・加工・商品化@農村



消費@都市



- コミュニケーション
- ・マーケティング
 - ・トレーサビリティ確保
 - ・第6次産業化
 - ・ブランド・産地化、信頼関係構築

(例) 研究からNGO活動へ発展させ、地域振興活動として行ったベトナムPAMCI-SAFERICEプロジェクト

グローバル・マインドを育む

担当科目～短期海外研修、異文化理解と国際協力～

グローバルな視野を持ち、
ローカルで活躍する。

海外研修

2～3年次の長期休暇を利用して、希望者5名程度が2週間程度の海外研修を行います。国際舞台で経験を積み、国際人として、世界に通用する人間力を鍛えます。



協定大学例：Vietnam National University of Agriculture

異文化理解と国際協力

国際協力に参加すること、外国の人々と接することを身近に感じる授業を行います。国際協力の現場の第一線で活躍する人からも話を聞く他、実際に異文化交流・ディベートを体験します。



(例) 多国籍の人々と議論

アジアの大学生は、日本人に興味津々。英語や日本語を話す学生もたくさんいます。完璧な英語でなくともNo problem! 相手の意見に耳を傾け、自分の考えを伝えましょう。

研究活動例 ～農村ビジネスの成立条件とは？～

地域社会経済の「なぜ」を追究します。

経済成長著しいベトナム紅河デルタには人口が密集する農村集落がたくさん存在します。社会調査を通じ、労働人口の約3割が2つ以上の生業を持ち、集落には、数百年続く地場産業が維持されつつ、新興農村ビジネスが次々に生まれていることなどがわかりました。たくさんの人々の生計を支える農村ビジネスは、どのようにして生まれ、発展していくのでしょうか？人は十人十色、地域社会も多種多様です。

地域の資源、文化、人々の意識、社会経済の仕組みなど、地域の実態を把握し、地域の内発的発展のあり方について考えていきます。



なぜ農村に人がたくさんいるの？



なぜ集落産業は数百年も続いているの？

卒業後の就職イメージ

・行政(国、県、市町村)、NPO団体、コンサルタント会社、商社、地場企業等

取得可能な免許、資格

・TOEIC(730点以上) 等